

カストロ氏死去

キューバ革命主導

90歳 社会主義は弟堅持へ

【ハバナ共同】キューバ国営テレビによると、1959年1月の革命以来、約半世紀にわたりキューバの最高指導者として君臨し、世界中の左翼運動に影響を与えたフィデル・カストロ前国家評議会議長が25日、死去した。90歳。弟のラウル・カストロ国家評議会議長が明らかにした。2006年7月に腸内出血で手術を受けた後、08年2月に元首である議長職を引退していた。

絶対的な指導者を失った 既に全ての主要な公職から
ことで国民の動揺は避けられ 退き、跡を継いだラウル氏が
れない。ただ、カストロ氏は 安定した政権運営を行って



キューバのフィデル・カストロ前国家評議会議長 (AP=共同)

おり、社会主義体制は当面、
堅持される見通し。

米政府はカストロ兄弟が率いるキューバを「圧政国家」と非難し民主化圧力をかけてきたが、オバマ米政権は大きく方針転換し、両国は15年7月に国交を回復。16年3月、オバマ大統領が現職米大統領として88年ぶりとなる歴史的なキューバ訪問を果たした。

カストロ氏は11年4月には共産党トップの第1書記からも退任。その後も断続的に政府系メディアで対米批判を続けたが、国民の前に姿を見せる機会は減っていた。